

よいことの Weekly Report ために 手を取りあおう



創 立 1969 年 4 月 14 日
承 認 1969 年 4 月 23 日
チャーターナイト 1969 年 11 月 9 日
発 行 I T・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム 第 2642 回		8 月 8 日
納涼家族会		
担 当 者	親睦活動委員会	例 会 場 J R ホテルクレメント高松・1F「ヴァン」

先週のプログラム 第 2641 回		8 月 1 日
クラブ協議会		
担 当 者	会長・幹事・各委員長	例 会 場 J R ホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さま、こんにちは。
先日のガバナー訪問に際しては多くの会員の皆様のご協力もあり無事終えることが出来ました。
この場をおかりして御礼申し上げます。
本日ですが、高松グリーンRCより十河会長と向井幹事がお見えになっております。
ありがとうございます。
十河会長には後ほど一言お願いしたいと思います。
前回の例会でお知らせした少年サッカー大会ですが、江島前会長、朝倉青少年奉仕委員長、入谷親睦委員長、堀井幹事とともに参加してまいりました。
決勝戦はPKが二巡するほどの接戦で一生懸命プレーする少年たちに心が洗われるような気がいたしました。
ということで本日も清い心でよろしく願います。

ビジター

高松グリーンRC 会長 十河 健志 様 幹事 向井 亜樹 様

堀井幹事報告

回覧 ・ガバナー公式訪問の御礼メール
・東かがわロータリークラブより活動計画書の送付
・10月25日開催の2670地区大会の出席確認の案内
報告 ・書類ボックス内の各会員の書類の持ち帰りのお願い

メイクアップ

7月15日 坂出RC 岡田
7月22日 高松東RC 有友 低田 磯崎 江島
7月22日 坂出RC 岡田
7月29日 高松中央RC 木内 江島
7月31日 高松RC 有友 江島

出席報告		出席委員長：大西一正	
会 員 数 /	44 名	出席規準数 /	41 名
出 席 者 数 /	33 名	欠 席 者 数 /	8 名
出 席 率 /	80.49%	ビ ジ タ ー /	2 名
最終出席率 /	7 月 11 日	82.93%	→ 82.93%

8 月 8 日 今日は何の日		今日生まれの有名人	
鍵盤の日/地球歌の日/スマイル記念日/洋食の日		1984年 橋本マナミ	1977年 猫ひろし
1955年 長崎市平和公園で平和祈念像の除幕式		1983年 金原ひとみ	1952年 池畑慎之介
1973年 金大中事件		1978年 白石美帆	1948年 前田美波里
誕 生 花	「クレオメ」花言葉は“秘密のひととき・あなたの容姿に酔う”		
誕 生 石	「ピンクサファイア」宝石言葉は“恋愛成就・成功・誠実・明晰・慈愛”		

四 つ の テ ス ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



ニコニコBOX	
西ロータリークラブ様、1年間よろしく お願いします。	高松グリーンRC 会長十河様・幹事向井様
グリーンRC様、ようこそ。	鈴木
グリーンRC様、ようこそ。	堀井
堀井先生、ありがとうございました。	田中
誕生日をいただきました。ありがとうございます。	住谷
携帯が鳴りました。	1件
合計 6 件	
本 日 の 合 計	21,500 円
2025-2026 年 度 累 計	155,000 円

2025-2026 年度 8 月定例理事会	
日 時	2025年8月1日
場 所	J Rホテルクレメント高松：例会場
出席者	鈴木、藤田、遠藤、堀井、木村、住谷、朝倉
議 題	① 2027-2028 度ガバナー候補者推薦依頼について → 当クラブとしては推薦しない。承認されました ② ウクライナ戦争孤児支援食堂プロジェクトへの協力について → 当クラブとしては協力しないとい うことで承認されました ③ 早明浦ダム上流域下草刈りへの参加について → 当クラブは参加するという事で承認されました
協議事項	国際奉仕委員会が実施を予定しているボン国際 ロータリークラブとの交換留学事業の進捗状況に ついて報告と協議をしました。

公共イメージ向上委員会よりお願い	
週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きた く会員の皆様のご協力をお願い申しあげます。 題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含 め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも 結構ですので投稿していただきます様、宜しく願い申し 上げます。	

facebook	
facebook でたくさんの写真を公開 していますのでぜひご覧ください。	
http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC	

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

RI 会長からのメッセージ（8 月）	
	今月、そして毎月 フランチェスコ・アレツツォ 2025-26年度 国際ロータリー (RI) 会長
	8 月は「会員増強・新クラブ結成推進月 間」ですが、ロータリーの成長とつながり への取り組みは、一年を通じて続くもので す。私たちがロータリーの成長に注力す ることで、奉仕する力、リーダーとしての力、そして持続的な 変化をもたらす力が高まります。 会員増強とは、単に会員数を増やすことではありません。 新しい扉を開くことです。自分自身の大きな目的のために、 時間や才能、心をささげたいと願う人々を迎え入れることで す。新会員は新たな発想やエネルギーをもたらし、ロータ リーの影響力を広げ、クラブを強化し、社会と共に進化させ てくれます。 現在、ロータリーでは従来の形にとらわれないクラブ形態 を設計することが可能です。多様なつながり方や奉仕の形 を提供する革新的なクラブの成功例を見るたび、私は大き な励ましを受けます。 例えば韓国では、衛星クラブの拡大により、約1,000 人の 新会員がロータリーに参加する機会を得ました。ルーマニア ではロータリアン、ローターアクター、インターアクターの連 携が、次世代のリーダーを育てる土台となっています。イン ドでは、専門性の向上や奉仕への情熱といった共通の関心 を軸に会員が集まり、ロータリーに参加する喜びと意欲を高 めています。また、東南アジア、アフリカ、ヨーロッパでは、 特定の課題に取り組む分野特化型クラブが活躍していま す。 共通していえるのは、ロータリークラブが成長しているところ では、会員増強が優先事項とされ、新しい挑戦への意欲 があるということです。ロータリーは一つの構造や伝統に縛 られた組織ではありません。私たちは行動する人々の世界 的ネットワークです。つまり多様なクラブ、多様な奉仕、多様 な参加の形が認められているということです。 この革新の精神は、ロータリーの新たな地域への拡大にも つながっています。これまでロータリークラブがなかった地 域や、かつて存在していたが消失してしまった地域でも、 ロータリアンたちは成長の機会を見だし、地域の特性や ニーズに合った新たなクラブを築いています。 こうした取り組みは、全ての会員が役割を担っています。 友人をクラブに誘ったり、新たな例会形式を支援したり、プ ログラムの学友と再びつながったり、自身のロータリー体験 を語ることも、組織をより強く、より活気あるものにします。 ロータリークラブに「所有者」はいません。クラブは、次の 世代に託す「贈り物」なのです。この贈り物を育み、他の人 を招き入れるとき、ロータリーは「よいこと」をする力として、 未来へ続いていけるのです。 8 月だけでなく、毎月を「会員増強の月」として意識し続け ましょう。友情と創意工夫、そして共通の目的を通して、ロー タリーを共に成長させ、「よいこと」のために団結するの です。

次週のプログラム		第 2643 回	8 月 22 日
高松西ロータリークラブ3年計画について			
担 当 者	行動計画推進リーダー・村上会員		例 会 場 J Rホテルクレメント高松